

ドキュメント作成日	2020 年 03 月 25 日 9 時 52 分
Version	1.0.2
ドキュメントタイトル	MT4 用 70Tick Chart インストールマニュアル・使用方法
サマリー	MT4 用で 70Tick チャートを表示するツールのインストール方法、及び使い方
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● MT4 が受信した全 Tick から 70Tick チャートを生成します。 ● 設置しやすいように設定項目を減らしています。 ● FX スキャルピング ——ティックチャートを駆使したプライスアクショントレード入門 (2012/11/17・ボブ・ボルマン著)を学ぶために最適化しています。



実行画面例:ポンド円

■動作環境

Windows 用の MT4 専用のアプリケーションです。

Windows 以外では動きません。

動作確認は Windows 8 Pro 32Bit、Windows 10 Pro 64Bit で行っています。

MT4 は数社の環境で試しています。

■著作権・注意事項・免責事項

本ソフトウェアの利用にあたり、著作権・注意事項・免責事項を承諾いただいたものとします。

本ソフトウェアの著作権は作者である Retar.jp が保有しています。

投資は自己判断・自己責任でお願いいたします。本ソフトウェアを使用し、取引をされ何らかの損失を被られても、Retar.jp では責任を一切負いません(間接的・付随的な障害・損失も含め一切の責任を負いません)。自己責任でご利用ください。

Retar.jp の Web サイトからダウンロードしたソフトウェアは本人利用に限り完全無料でご利用いただけます。ソフトウェアの全てまたは一部の複製・コピー・リバースエンジニアリング・改変・2 次配布・商用利用・転売・販売等は一切禁止いたします。違反行為を発見した場合は法的処置を行います。

Retar.jp の Web サイト上で配布するソフトウェアは無料提供ですのでサポートなどは行っておりません。万が一、ソフトウェアに不具合や問題があっても当サイトでは修正・対応などができない場合があります。ご利用の環境でトラブルが発生しても助言することはできませんので自己責任でご利用ください。

■ サポート

ご質問、ご要望、Bug 情報等ありましたら、下記 URL までお寄せください。

Retar.jp Twitter

https://twitter.com/retar_jp

Retar.jp Web

<https://www.retar.jp/>

個別の問い合わせについて可能な限りお返事させていただきます。

個別にお返事が出来ない場合もありますので、何卒ご容赦ください。

Bug に対しては積極的に修正していくつもりですが、機能拡張への要望は答えできないと思ってください。

■ 開発環境

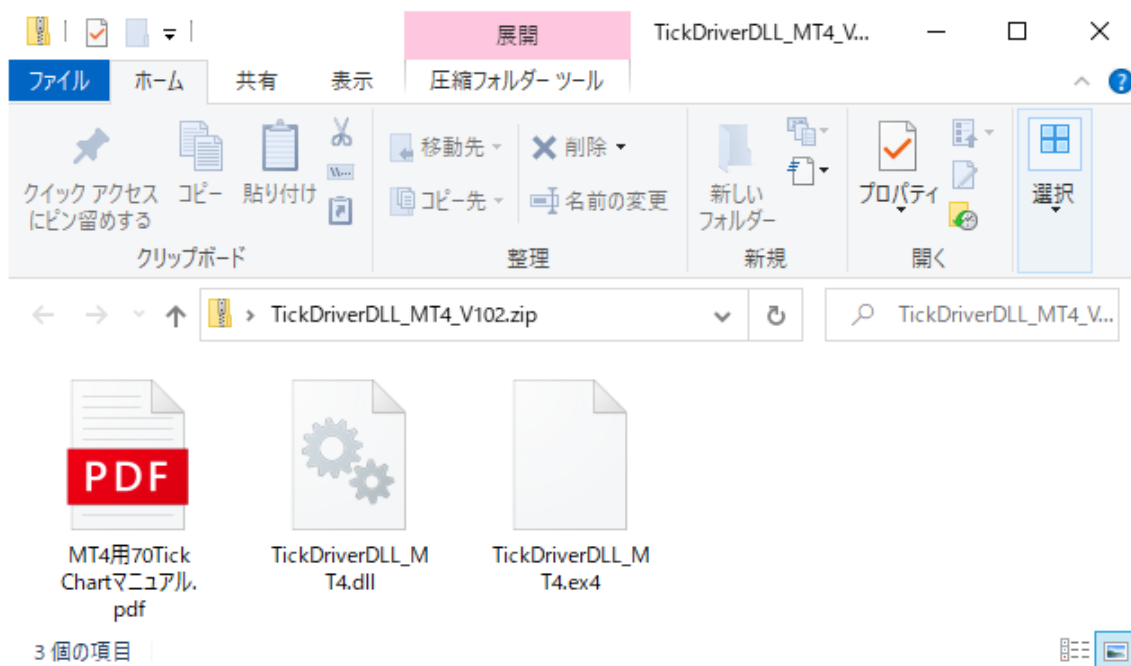
Microsoft Windows 10 Professional

NVIDIA GeForce GTX 1050Ti

Visual Studio 2019

■インストール

圧縮ファイルには 3 つのファイルが含まれています。



> TickDriverDLL_MT4.ex4

実行形式の Expert Adviser(EA)です。

MT4 から Chart 表示プログラム (DLL) がデータを受信するためのインターフェースです。

> TickDriverDLL_MT4.dll

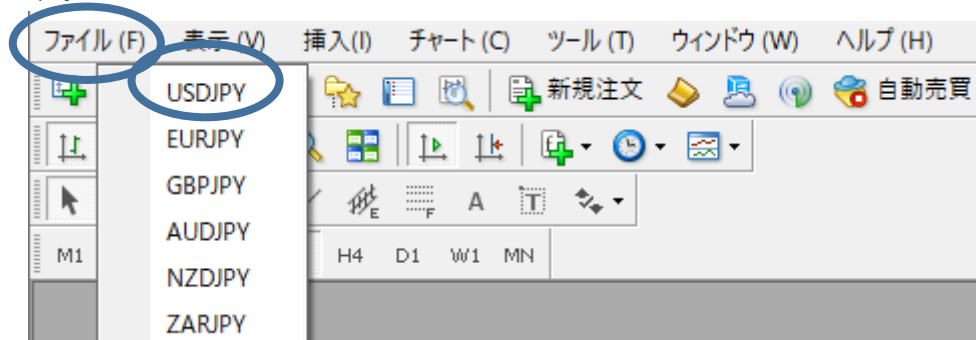
Tick Chart を表示するための DLL です。

> MT4 用 70Tick Chart マニュアル.pdf

本ドキュメントです。

■インストール

1. インストール可能な Windows 版 MT4 を用意します。
本番のアカウントでも使用可能ですが、チャートを見るだけならデモアカウントで十分です。
2. 「ファイル」メニューから EA を動作させる銘柄を選択します。はじめはドル円 (USDJPY)、ポンド円 (GBPJPY) などがおすすめです。USDJPY で説明していきます。



3. はじめは1時間足が出てきます。



4. 表示を1分足に変更し、好みのロウソク足の表示にします。



5. 20EMA を赤線で表示します。

Moving Average ? X

パラメーター レベル表示 表示選択

期間: 20 表示移動: 0

移動平均の種類: Exponential

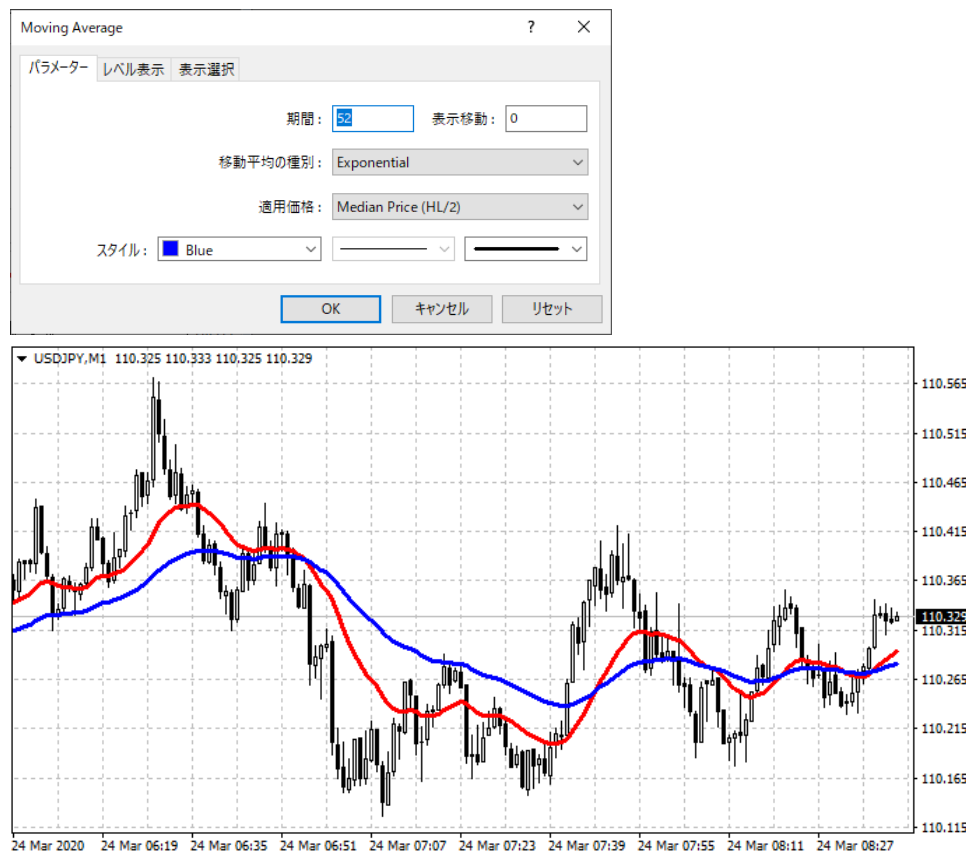
適用価格: Median Price (HL/2)

スタイル: Red

OK キャンセル リセット



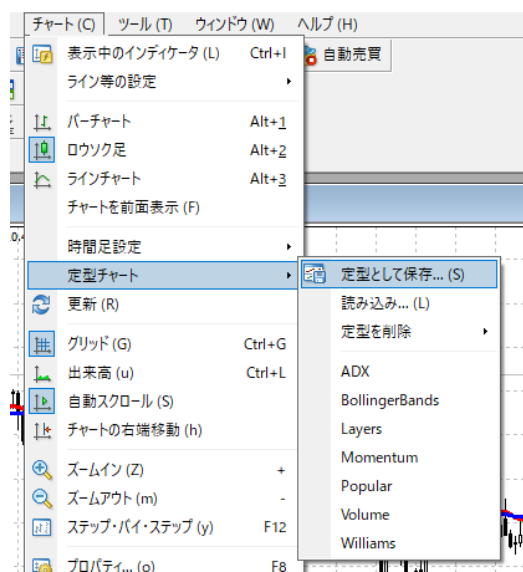
6. 52EMAを表示します。



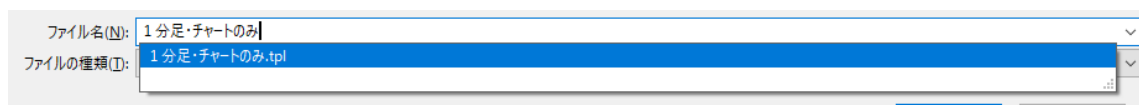
7. この時点で1分足を好みのスタイルに変更しておきます。

スタイルが決まったら、一旦、チャートを定型保存しておきます。

チャートウィンドウを選択しておき、「チャート → 提携チャート → 定型として保存」を選択します。後から呼び出すと楽になります。



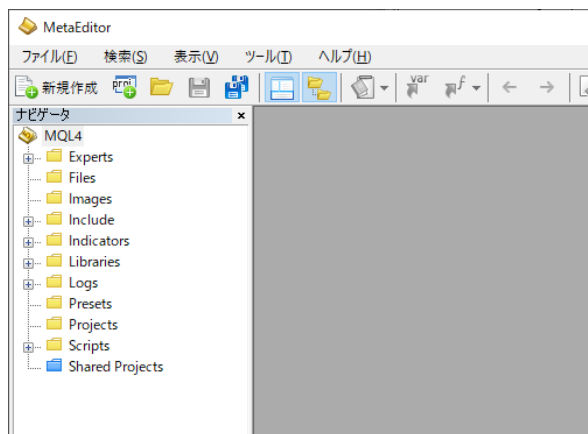
8. 「1分足・チャートのみ」など分かりやすい名前で保存します。



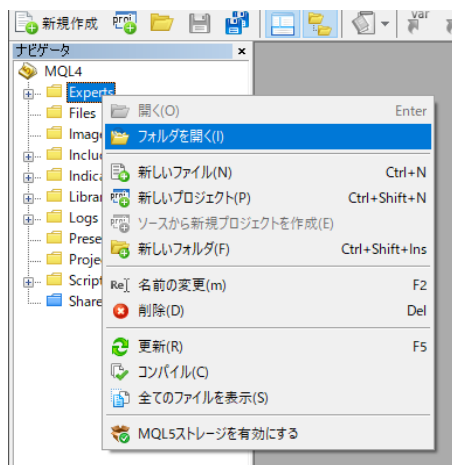
9. EA を設置します。「F4 キー」または下記のボタンをクリックします。



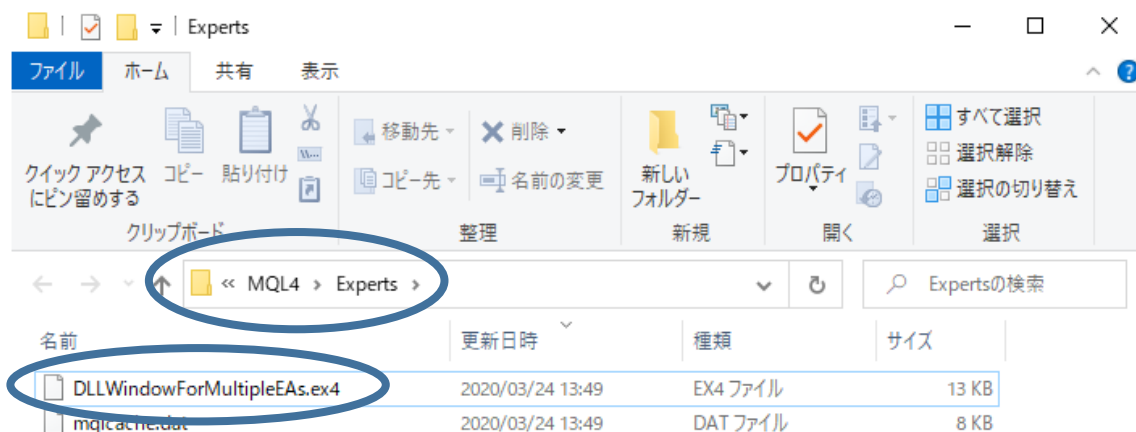
10. MetaEditor が表示されます。



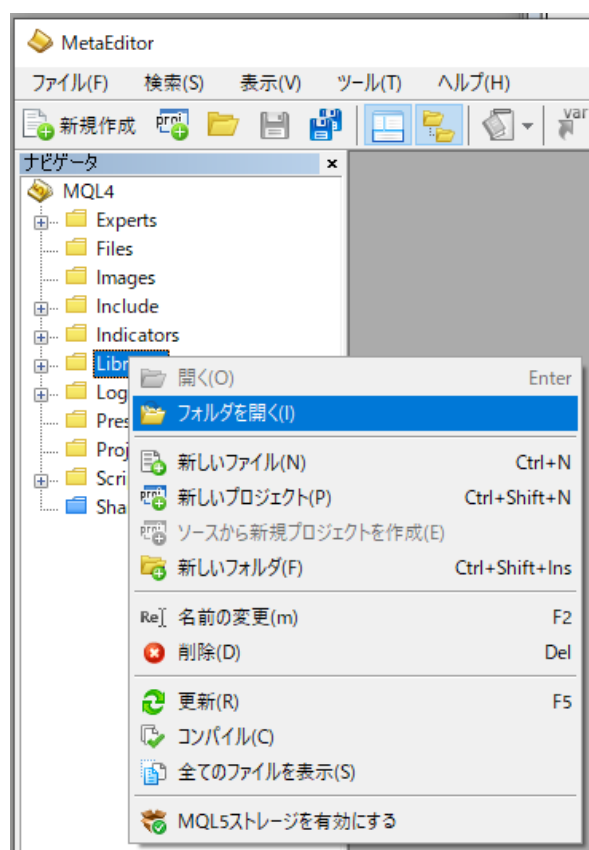
11. 「Experts」のフォルダの上でマウスの右ボタンをクリックし、「フォルダを開く」を選択します。



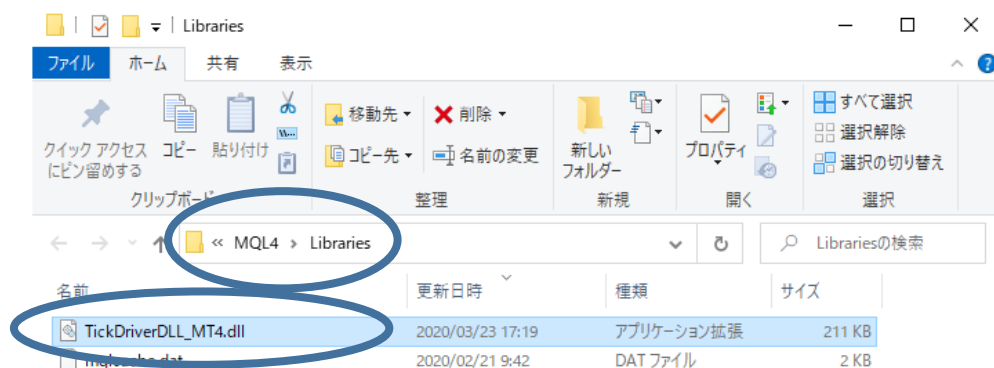
12. エクスプローラーが起動してくるので、フォルダの中に「TickDriverDLL_MT4.ex4」をコピーします。



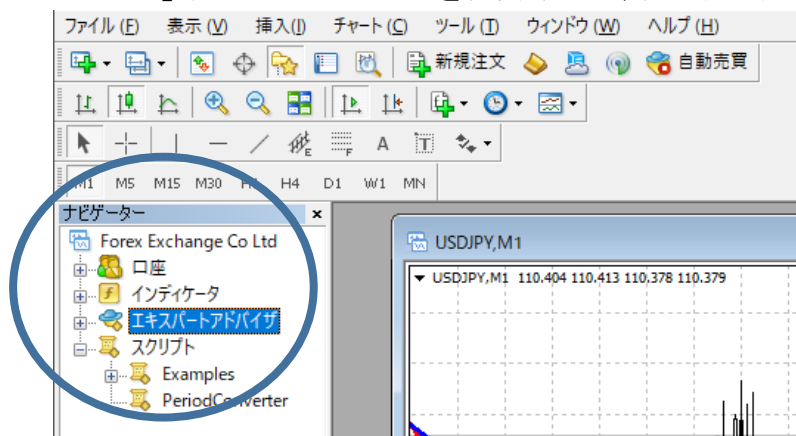
13. 「Libraries」のフォルダの上でマウスの右ボタンをクリックし、「フォルダを開く」を選択します。



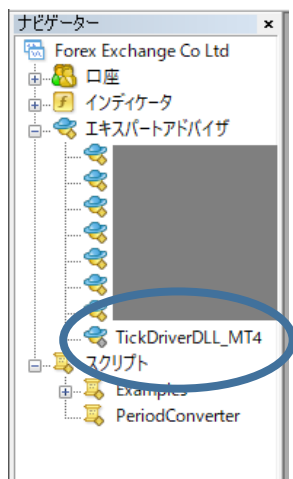
14. エクスプローラーが起動してくるので、フォルダの中に「TickDriverDLL_MT4.dll」をコピーします。



15. 一旦、MT4を終了して、再び起動します。こうしないと使えません！！
16. 「Ctrl + N」キーまたはアイコンをクリックして、ナビゲーターを呼び出します。



17. 「エキスパートアドバイザー」の横にある「+」をクリックして開き、「TickDriverDLL_MT4」があることを確認します。



18. 「TickDriverDLL_MT4」を右ボタンでドラッグして、チャートの上にドロップします。

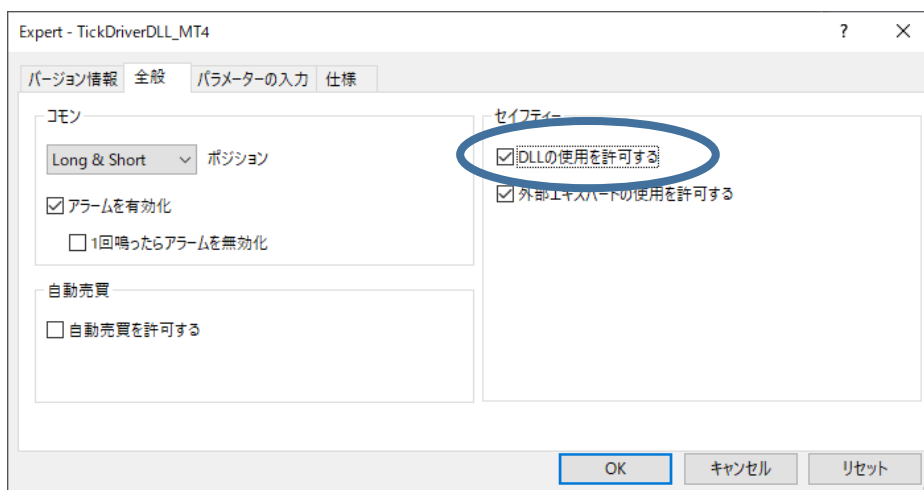
「Expert – TickDriverDLL_MT4」ウィンドウが出てきます。

また、USDJPY の右上にも「TickDriverDLL_MT4」が出てきます。

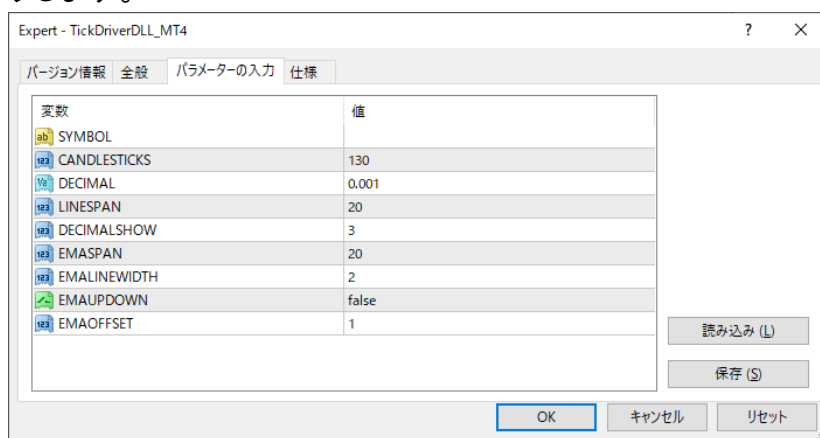


19. 「Expert – TickDriverDLL_MT4」ウィンドウの「全般」タブをクリックします。

「DLL の仕様を許可する」をクリックして、DLL を使えるようにします。



20. 「Expert – TickDriverDLL_MT4」ウィンドウの「パラメータの入力」タブをクリックします。



21. パラメータを設定します。パラメータの意味は以下

> SYMBOL

銘柄名です。70Tick チャートのウィンドウ名になります。欧文半角文字しか通りません。自動的に銘柄を拾うので、通常は設定の必要はありません。

奨励値: 空白

> CANDLESTICKS

表示したいロウソク足の数です。ユーザの画面サイズが異なるので、設定できるようになっています。100～150 ぐらいの値が適切だと思います。

奨励値: 100～150

> DECMAL

銘柄の最小刻み値を設定します。ドル円の場合は小数点以下 3 桁(111.456)なので「0.001」とします。

奨励値: 銘柄依存

> LINESPAN

70Tick チャートの目盛の間隔です。

「DECMAL × 整数倍」が目盛になります。

ドル円の場合、2pips に設定するためには「20」と設定しています。(0.001*20＝0.02 円)

奨励値: 銘柄依存

> DECMALSHOW

銘柄の小数点以下の表示桁数。ドル円の場合は小数点以下 3 桁(111.456)なので「3」とします。

奨励値: 銘柄依存

> EMASPAN

70Tick チャートに表示する EMA(指数平滑**移動平均線**)の期間設定。

「FX スキャルピング ——ティックチャートを駆使したプライスアクショントレード入門 (2012/11/17・ボブ・ボルマン著)」では、「20」が奨励されています。

奨励値: 銘柄依存(15~30?)

> EMALINEWIDTH

70Tick チャートに表示する EMA(指数平滑**移動平均線**)の表示線幅の設定。画面の広さに依存します。

奨励値: 1~3

> EMALINEUPDOWN

70Tick チャートに表示する EMA(指数平滑**移動平均線**)をロウソク足の上に表示するか、下に表示するかを設定します。お勧めは「false」。

奨励値: false

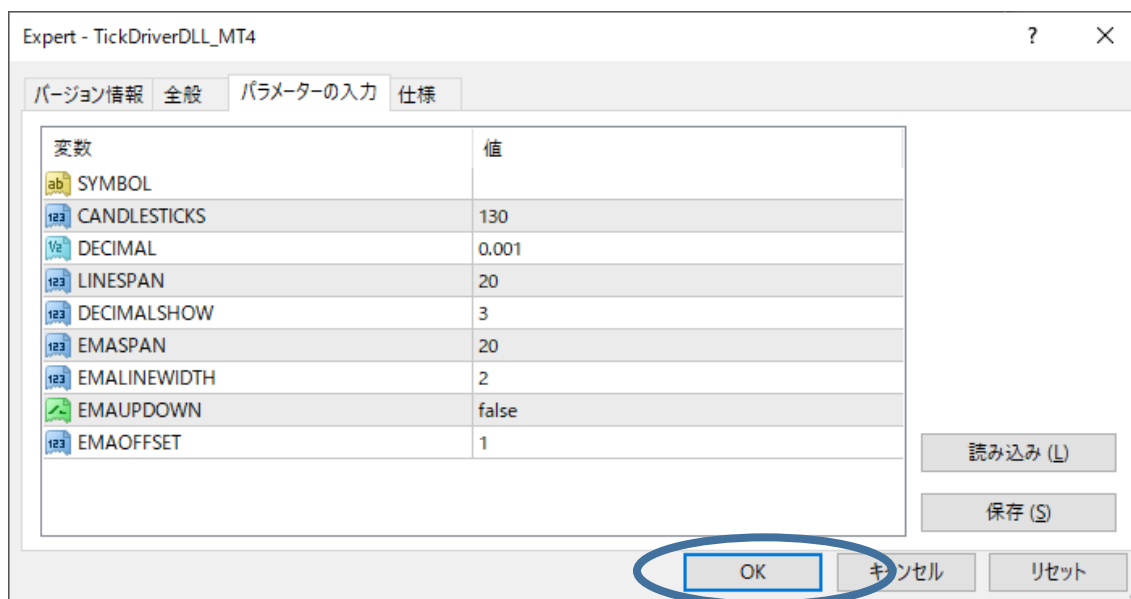
> EMAOFFSET

移動平均の未来や過去への移動。お勧めは「1」に現在値の値が動かないようにする EMA の固定。

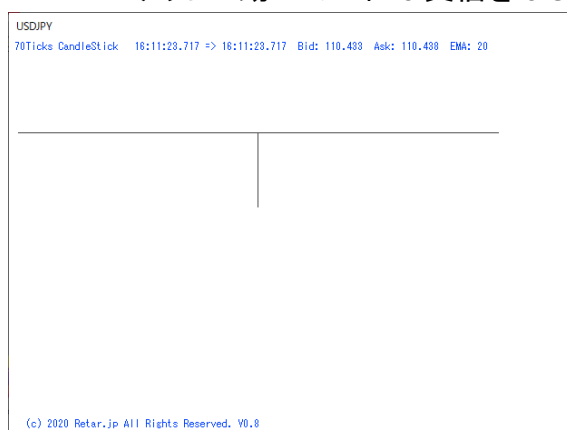
「FX スキャルピング ——ティックチャートを駆使したプライスアクショントレード入門 (2012/11/17・ボブ・ボルマン著)」では、「0」です。

奨励値: 0~1

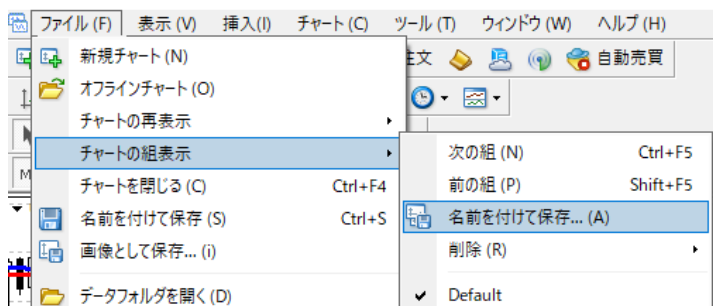
22. 設定後は「OK」をクリックします。



23. マーケットが動いていれば受信をはじめロウソク足を書き始めます。



24. 表示設定を保存します。「Default」値として保存しておくとも起動するたびに、同じ画面になります。



■使用方法と注意点

最初の 1～2 時間ぐらいいは、起動したまま受信させておきます。

MT4 は受信した Tick データを内部で保存している訳ではなく、ロウソク足を書いた瞬間から、捨てていきます。

このため Tick データが十分受信できるまで、しばらく使えません。



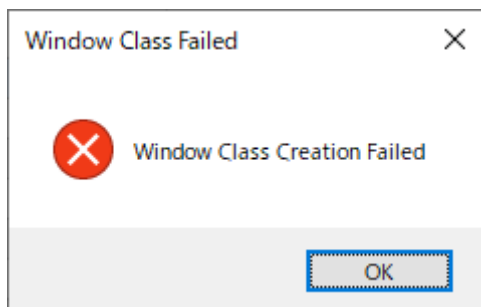
EA の設定値の操作をしていると時々「Window Class Failed」画面がでできます。

再起動すると治ります。

気に入ったところまで設定するために何度も再起動が必要です。

MT4 側の問題で、Retar.jp では直せません。

パラメータ設定後は出てくることはないのですが、一旦、お気に入りのパラメータを決めてしまえば、その後、出てくることはありません。



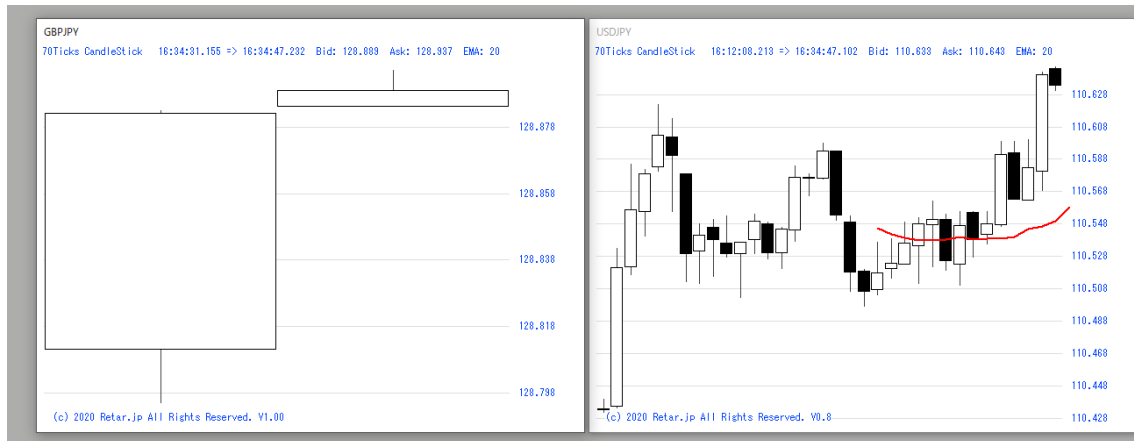
1つの MT4 の起動につき、1つの 70Tick チャートしか出せません。

例えば「ドル円とポンド円のチャートが見たい」ができません。

MT4 の制約です。

回避方法があります。

別業者の MT4 を入れ、2つ起動し、片方はドル円、もう片方はポンド円とすれば、2銘柄の観察ができます。



ウィンドウサイズは自在に変更できます。

好みのサイズにして利用してください。



表示されているのは以下です。

時間は「時:分:秒ミリ秒」の表示になっています。

時間は PC で受信した時間になっています。

MT4 の時間はずらしてみる必要があるのが不便なので、日本時間にして表示をしています。

左側のロウソク足の時間

右側のロウソク足の時間

Bid

EMAの期間

Ask

